

# 2008マディソン視察報告

|        |                  |
|--------|------------------|
| 相川 章子  | 聖学院大学            |
| 井形 ルリ子 | 熊本市西保健センター       |
| 坂井 敏夫  | 大江病院             |
| 佐藤 吉春  | 当事者              |
| 澤 健一郎  | 十勝障がい者総合相談支援センター |
| 武田 牧子  | 厚生労働省 障害福祉課      |
|        | 地域移行支援専門官        |
| 西村 金吾  | 大江病院             |
| 藤森 ひろみ | 当事者              |

# ウィスコンシン州デーモン群マディソン 市 USA

- 成田空港から飛行機で14時間半



- アメリカの北東部で、五大湖に近いところ
- 帯広と同じくらいの緯度
- 人口は22万人(うち、学生が4万人)



# マディソン市の街の中



# 食事風景





# 研修の概要

- 今回の研修は、千葉県との共同開催
- 日本人同士も半数が初対面
- 当事者・医師・看護師・PSW・行政の方々の合同研修
- 講義、意見交換、見学が行われた

- 当事者主体・当事者参加
- ACTモデルを実践
- 地域の支援プログラムが量・質共に豊富である
- ケアマネジメントの支援体制が整備されている





# PACT

- ACT(多職種医療チームが在宅訪問などアウトリーチを主体とした多彩なサービス)の原型で、ACTの前にプログラムという意味の「P」が付く
- マディソン市から世界中に広がっていったが、このシステムはアメリカ全体では統一されていない
- マディソン市では、支援の規模が小さいので、特に必要な人にケアが提供できている



## 退役軍人のためのメンタルヘルス制度(VA)

- 退役軍人はおよそ2400万人いるが、PTSDの支援ニーズが高くて、帰国後1年以内の自殺率が高い
- セラピー、作業療法、アルコール依存症のプログラムや重症者に対する就労支援が行われている





# SOAR

- 当事者によるケースマネジメント
- ケースマネージャーの6割をリカバリーした当事者が占める
- 運営も当事者が行っている
- 夜間・休日もち回りで携帯電話を持って、対応している
- SOARの原型はACTだが、ACTだけでは新規対象者に対応できなかった





# グラスルーツエンパワメント

- 日本語にすると、「草の根エンパワメント」
- ウィスコンシン州内10ヶ所を拠点に活動
- 専用のオフィスはないが、4人のスタッフで活動していて、メールで連絡をとっている
- ウィスコンシン州から150万円～250万円くらいの資金提供を受けていて、半分を各地域の活動に、もう半分をスタッフの人件費に充てている
- 1対1でピアサポートする

# デーン郡精神保健センター

- 郡から委託をNPOが運営している民間施設
- 表札は「ケネディ ビルディング」
- 強制的な入院を判断するユニット、外来診療、薬局、当事者によるケースマネジメントユニット等のマディソンモデルの複数の事務室等が入っている







# グループホーム

- 他のグループホームとの会議で入所の可否が決定し、医療保険に加入していないと利用できない
- スタッフは資格は問われないが、食事や薬の管理等について研修を受ける
- マディソン市内に8ヶ所、88人分ある





# リカバリーハウス

- 日本でいうと、ショートステイのようなところ
- 入院しようか迷っている時や退院後に自宅に帰る前の一時宿泊施設
- 入院は一晩1000ドル、ここは一晩300ドル
- 利用者がいなくても、職員が常駐している



# ヤハラハウス

- パソコンの訓練等の  
デパートメントに分か  
れている
- 過渡的雇用プログラ  
ムと一般就労、就学  
支援を重要視している
- 障害年金を受給しな  
がら短時間労働して  
いる人や就学してい  
る人がいる





# オバマ パーティ



## 研修を終えて①

- マディソンでピアサポートがすすんでいるのは当事者の人権意識が強いからと感じた
- 専門家は当事者の環境を整備する牽引者ではなく 使える道具と位置づけられなくてはならないのではないか



## 研修を終えて②

- アメリカウィスコン州においてもマディソン市のような環境は珍しく、日本においても十勝は恵まれているのは同様だと感じた
- 日本においてもマディソンモデルをただ当てはめて資源整備してもなじめずに挫折体験を持つだけに終わってしまうのではないかという気がします

## 研修を終えて③

- 日本とアメリカの保険や文化の違い、健常者や医療者が持っているそれぞれの偏見を減らすノーマライゼーションの考え方土壌が必要と考える



# 今後の十勝での課題

- 地域でケアマネジメントなどを行なう為の、マンパワーの確保(予算の確保必要)
- アウトリーチワーカー(当事者)のマンパワーの確保

ご清聴ありがとうございました





























